



すべての子どもと家庭を支援します

燕市子ども・子育て会議条例の制定

◎全会一致で可決

平成27年4月からスタートする「子ども・子育て新制度」への対応に向けて、合議制の機関として設置する「子ども・子育て会議」に関する条例。

問 現在ある「次世代育成支援推進委員会」との違いは何か。

委員の選考について、どのように考えているのか。委嘱という同じ顔ぶれになりやすい。重複は避けるべきだが、どう考えているのか。

答 「次世代育成支援推進委員会」でつくったのは平成27年3月までの計画で、この「子ども・子育て会議」に関するものは平成27年4月から



子どもの豊かな放課後保障の審議もされる

新制度として動くもの。

メンバー構成は法律上規定されている。保護者・保育士・事業主・労働者・公募・大学の教授等、識見を有する者で、15名程度。付属機関の委員の設置については、5機関以内という指針がある。推薦願いを出すときに意向を伝えていきたい。

老朽化している市営住宅の取り壊しを進めます

燕市営住宅条例の一部改正

◎全会一致で可決

老朽化している市営住宅の取り壊しを進めているが、取り壊された住宅を取り除くための条例の改正。



空き地が広がった緑町市営住宅

問 緑町住宅団地の現状はどうか。今後どのように取り組んでいくのか。また、地震等の危険性はないのか。

答 順次取り壊しを進めているが、1棟のうち1戸でも入居者がいれば取り壊すことができない。平屋建てであるため、地震の被害はあまりない。老朽化しているので注意深く見ていきたい。

新しい市議会議員をご紹介します

4月6日に告示された市議会議員補欠選挙で、宮路敏裕さん(56歳)が当選されました。



みやじ としひろ
宮路敏裕 議員 (燕市東太田)

市民の声にしっかり耳を傾け、市民の代弁者としての責任を果たすため、全力を尽くします。

議員定数調査特別委員会から報告します

平成25年12月議会に設置された「議員定数調査特別委員会」は、人口7万人から10万人規模の全国自治体資料なども検討し、議員全員の意見を出し合いました。その結果、改選まで8カ月を過ぎた中で、早急に定数を減らすべきとの意見はありませんでした。

10月に行われる一般選挙で選出される議員によって協議していくことになり、特別委員会は3月20日解散しました。

3月定例会

議論は集中!



補正予算の主な質疑 平成25年度一般会計

平成25年度 補正総額

7億4,955万6,000円 ◎賛成多数で可決

都市計画費

須頃郷排水対策事業 △3,800万円

問 進捗状況と減額理由について。

答 工期延長につき、平成26年度に繰り越すための減額。井土巻3丁目9号線(イオン側)延長54m 650トン 井土巻須頃線(ガソリンスタンド脇)延長36m 600トン 全事業の完了は平成28年度。完了後の対応雨量は1時間当たり49.9ミリとしている。



イオン側の排水対策工事

清掃費

燕・弥彦総合事務組合負担金

△2,768万円

問 減額理由は何か。

答 事業費の経費節減と粗大ゴミシール販売や可燃ゴミ・不燃ゴミの受け入れ料金の増額、有価物(金属・紙・瓶)の販売金額の増などがあり、その分負担金が減額となった。



分別で資源収入となる

保健体育費

東部学校給食センター建設事業

△5,999万円

問 減額理由は何か。

答 老朽化した施設の改修等が多いなど、市の建設計画全体の見直しをしている。その結果、翌年度以降に時期をスライドさせることによる減額。

農林水産業費

農地面的集積促進事業費補助金

1,100万円

問 この補助金の対象は何か。

答 一般の農家の方々が対象。農業をリタイアする人や経営を転換する人に対する「経営転換協力金」及び分散した農地の連担化に協力する農地の所有者への「分散錯圃解消協力金」の2種類がある。

補正予算の主な質疑 平成26年度一般会計

平成26年度 補正総額

3億3,297万6,000円 ◎賛成多数で可決

観光費 観光推進費 1,250万円

問 地域資源活用人材育成委託料について、内容と委託先は。人件費はどのくらいか。

答 燕市観光協会に委託し、県の緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用。燕市の産業や観光全般の知識を習得。地場産品の販売や観光PRができる人材育成を行う。人件費は3人分で約700万円を見込んでいる。